

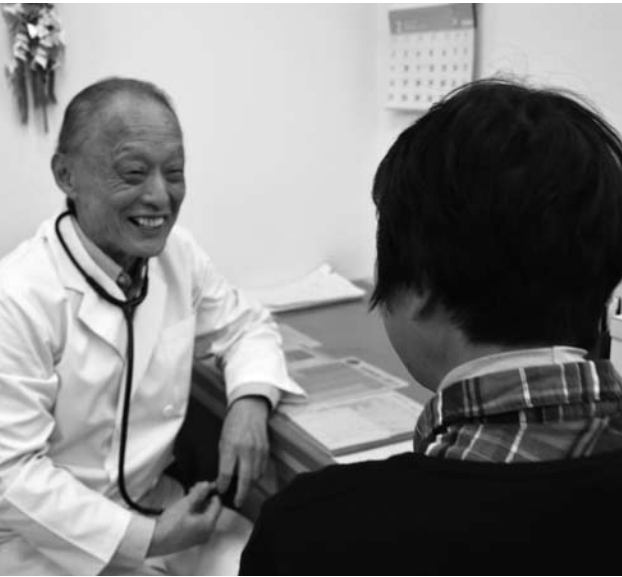
医療サービスの充実と 災害対応について



質問者
石内 浩 議員

標題に関しては、高齢化社会が進展するなかで、これまでと違った視点での取り組みが必要とされるはず。以下の点について、具体的な回答を願いたい。

- ① 寄診療所のその後と、足柄上病院の独立行政法人化による経営施策・地域対応・医療サービスの向上について。
- ② 災害時の避難場所の見直しと、自主防災会での役割、役場との連携をどう進めるか。
- ③ 災害時の警察への期待も大きい。松田警察署建替えを機に、地元との新しい協力体制づくりは。



診療所の山田先生は5月から復帰(月・木・金を予定)

- ① 診療所は、退職された山田医師と足柄上病院の医師との体制で行っていくよう調整している。詳細は、広報等で紹介していきたい。
- 足柄上病院は地域の中核的病院として、医療・保健・福祉・介護の一体的支援体制に向けて調整を進めている。地元としても、関係機関を含め地域や住民の医療ニーズに的確に応えられる病院となるよう、積極的に連携を深めていく。
- ② 災害時の避難場所では、各自主防災会でのフォローが重要。役場との連絡方法等は、自主防災会に配布した地域振興

A

更に安心な町づくりを

回答(町長)

無線の活用と避難所の耐震診断結果を踏まえ検討を進める。

③ 警察署の新庁舎建設により、災害対策など有

事の際は地元との連携強化を図り、これまで以上に警察機能が発揮され、町の治安維持の向上に期待できると考えている。

A

さらなる充実を目指します

回答(町長)

平成25年度、新たに開園した『松田さくら保育園』は待機児童もなく、仕事をもつ保護者は恩恵を受けております。献身的に対応され、評判も良くて多くの新規申し込みがあるとのこと。

27年度に、定員60人から30人増の90人とするため、保育室と遊戯室を26年度に増築する予算が計上されました。そこで、次のことをお聞きいたします。

① 今後、待機児童がないように十分な保育施設



質問者
鍵和田 貴実代 議員

松田さくら保育園のさらなる充実を

- ② 園児増員に伴う保育士の採用にあたり、松田町の住民を優先雇用するお考えは。
- ③ 27年度からスタートする『子ども・子育て支援新制度』に際し、『認定こども園へ』移行する計画は。

- ① 開所後3年目となる27年度からは、実情に合わせた入所定員への認可変更を予定している。安全・安心な保育環境を確保するために、今後も運営法人の配慮により、待機児童が出ないように調整する。
- ② 『松田さくら保育園』は民間保育所なので、保育士の採用は運営法人の裁量によるものである。
- ③ 現在、『子ども・子育て支援新制度』のアンケート調査結果を取りまとめ、解析中である。地域の教育・保育の多様なニーズに、あらゆる角度から『認定こども園』についても、応えていきたい。



松田さくら保育園の園児たち